

市長と語る会における意見及び市長の回答(府中市消防団分団長)

No	意 見	回 答
1	市内の企業は、年1回防災訓練を実施しているのか。	把握はしていないが、消防計画等を作成し、災害を想定した訓練をやるよう義務付けられていると思う。皆がやれば、その分地域の防災力が向上する。
2	自治会と地域の企業が合同で防災訓練などを行ってはどうか。	実際に昼間に災害がおこったら、地域に住んでいる高齢者や隣に住んでいる事務所で働いている人と一緒に助け合わなければならない。いい考えだと思う。
3	中学生による防災の組織のようなものがあると、すごく若くて、活動的でいいと思う。	教育委員会もその観点は持っている。東日本大震災の際にも避難所支援では中学生の力にだいぶ頼っていたと聞いている。府中市でも市内の都立高校と防災協定を結び、高校生による支援を想定しているが、中学生の協力も大事だと思う。
4	中学生のうちから消防に興味を持ってもらえると、消防団にも誘いやすい。消防団の見学会など接点があるといいが、地域によって取り組みに差がある。	学校と地域との関わりは当然必要である。コミュニティスクールは、地域の力で子ども達を育てていくとなっているが、その視点に消防団がある学校とない学校があるのかもしれない。
5	府中六小では、毎年防災キャンプをおやじの会が行っているがすごくクオリティが高く、我々も非常に勉強になる。子ども達も防災意識が高まっていると思う。	
6	府中八中では、中学生が避難所を開設し、住民が非難してくる訓練をやっている。下手な防災訓練よりも意味があると思うし、ほかの学校にも広がればいいと思う。	
7	府中一小で地域の自治会とPTAが合同で防災訓練をやることになったが、自治会と府中一小の区域が合っていないので、震災時に小学校単位で対応するのであれば、自治会としてどうしたらよいかとの意見があった。	小中学校の学区は1つの単位になりやすいが、自治会の区域とは違っている。また、文化センター圏域とも違っているので、区域を揃えるのは難しい。避難所になるところで何もかもその単位でやろうとすると非常に難しさがある。
8	学校は一年のうち半分くらいは教職員、生徒がいない時期があるので、災害に備えて地域の方に体育館の鍵を預けている。しかし、地域の人はどこに何が置いてあるかわからないと思うので、そういうことを想定した訓練を取り入れてはどうか。	学校で避難所開設訓練や避難訓練を行う地域は増えてきている。校長先生や副校長先生が防災に熱心であったり、自治会長やおやじの会など防災意識の高い団体がある地域では積極的に実施されている。

市長と語る会における意見及び市長の回答(府中市消防団分団長)

No	意 見	回 答
9	実際に災害がおきた場合に、電気やガスが使えない状況を想定した訓練をしてはどうか。備蓄米やアルファ米があってもそれをいかに有効に使うかという訓練を考えていければいいと思う。	出来上がった計画の中で行う防災訓練は、訓練のための訓練になってしまい、緊張感に欠けていたりする。災害の際に人々が逃げ惑わずに落ちついて行動することが大事。みんなが学校に避難してきてパニックになり食料が一瞬で無くなるというような状況を起こしてはならない。
10	非常食や避難所の設備、配給物等の取り決め等はあるか。	避難生活をするところに備蓄している。
11	防災無線はつながることが多いので使いづらい。災害時は情報伝達が大事なので、伝達できる手段を考えてほしい。また、現在の無線機はデジタル方式で中継局経由だが、アナログ方式のほうが直接やり取りができるのでいいと思う。	情報伝達は災害時のパニック状態においてはとても重要である。現在は防災行政無線を利用しているが、通信状態が良くない地域もある。もう少しいい手段があるか研究しているが、皆さんの要望を伺い、今後相談していく。
12	自治会でスタンドパイプを購入しているところもあるが、その地域の一番近い消火栓を利用すると思うので、団や小隊用に別々の消火栓口をつけてほしい。	スタンドパイプは東京都の補助で購入していると思うが、ふたが結構重たいので取扱いには注意しなければいけない。購入した自治会には、消防で指導していると思う。
13	高校生や中学生よりも小学生のほうが話を聞いてくれるので、関心をもちやすい。市内の小学校で消防団の話をしてもらいたい。	消防をひとつの仕事として捉えれば、そこで働く人の姿をみることもできるし、まちの安全の観点から消防活動の現場を見ることが消防署と消防団の違いや意義を伝えるのもいいことだと思う。教育委員会に伝えておく。
14	消防団のOBの方が非常時に活動できるような立場や役割があるといいと思う。消防支援法にもOBの活用という記載がある。	すごく大事な観点だと思う。OBの方が自主防災組織に入ってリーダーシップを発揮してもらうなど、そういう人たちが増えていけば地域の安全にもつながっていく。
15	災害時に、市内在住の市職員と消防団との連携をとるなどのネットワークを作れないか。	それは真剣に考えなければならない。職員への研修も必要となる。
16	市職員が公共機関を使わずに参集する訓練をやっていると聞いたことがあるが、市職員の市内・市外の割合はどのくらいか。	半々ぐらいだと思うが、近隣市と比べると市内率は高いと思う。参集訓練は1年位前に実施している。参集の際には、災害状況等の情報を収集し、それを災害対策本部で整理していく流れになっている。

市長と語る会における意見及び市長の回答(府中市消防団分団長)

No	意 見	回 答
17	災害時の市のマニュアル等はあると思うが、分団長として、実際にどういう動きをしたらいいのか明確でない。	分団長のマニュアルは作成したほうがいい。
18	職員に携帯用のマニュアル等を配布しているか。	数年前に一度配布しているが、その後は配布していない。
19	地域防災計画は、地域の防災組織や消防団などの意見を取り入れて作成しているか。また、計画において分団や自主防災組織にお願いするすることなどあると思うが、その周知等はどのようにしているのか。	平成26年2月に地域防災計画の見直しを実施したが、その際、防災会議のメンバーとして消防団の団長や、自主防災組織連絡会の会長、電気やガス等の関係会社の方にも加わっていただき作成している。また、計画の概要版の全戸配布については今年の秋ごろを予定している。分団や自主防災組織への周知については必要なことだと思うので検討していく。
20	点検や訓練をする場所が無いので困っている。競馬場や競艇場など企業の協力が得られるといいと思う。市から大規模事業者へお願いしてもらえないか。	同じ地域にいるものとして企業の協力は必要だと思う。セキュリティ面で厳しいところもあるが、訓練場所の提供など協力していただけたところがあれば、市としても使い勝手がよくなるよう環境を整備できればいいと思う。
21	現業事務所の中に消火栓を作してほしい。	東京都へ1度お願いはしているが、許可がおりなかった。引き続き、交渉してみる。
22	矢崎町の防災公園で訓練ができるよう舗装や排水溝の整備をしてほしい。	検討する。

市長と語る会における意見及び市長の回答(府中市自主防災組織連絡会委員)

No	意 見	回 答
1	大規模災害の被害想定は、どの程度を想定しているのか。また、地域ごとに被害の想定をしているのか。	地域防災計画の中では、震度6強を想定している。市内の地域別による被害想定は難しい。
2	地盤の弱い地域には、耐震補助を多めに出すなどの措置はあるか。	旧耐震基準で建てられた建築物で耐震診断や耐震改修をする場合には一定額の補助をしているが、地域による補助額に差はつけていない。
3	在宅で避難生活ができるよう備蓄の必要性など指導してほしい。	地震が起きたら学校の体育館に逃げなければならないと思っている方が多い。みんなが学校に行ってしまったら大変なので、ご自宅に簡易トイレや飲料水、食料などを3日分程度置いてほしいといろいろなところをお願いしている。
4	災害に備えて学校のプールに水をためておけば、火災時の消化やトイレに利用したり、蒸留装置をつけて飲水に利用したりできるのでは。	学校のプールの水の利用は、当然考えておかなければならない。トイレについては、各学校にマンホールトイレを設置したり簡易トイレを置いたりしている。
5	東日本大震災の際、歩いて自宅へ帰る人たちが結構いたので、市外から流入してくる人たちのことも考えなければいけない。	
6	災害時には町ごとに避難する場所は決まっているのか。	決まっていないが、地域の中でみなさんで集合場所を決めておき、いざというときに誰がいらないのかわかるような関係を作っていくのが町内会であり、自主防災というのはそこから生まれてくるのだと思う。
7	東京外国語大学を避難場所として使えるよう市からお願いしてほしい。	東京外国語大学で避難生活をすることはできないと思う。避難生活を送るところ(一時避難所)としては、小学校や中学校があり、地域ごとに決まっている。しかし、最初に避難する場所は、地域ごとに皆さんで話し合って決めてほしい。
8	防災倉庫が狭いので、大きくしてほしい。	ずいぶん昔に貸与して以来見直しをしていないので、これから見直しをしていく。
9	府中八中で実施された避難所の共同訓練は非常によかったので、各地域で連携して実施してほしい。	避難所訓練については、モデル校で先行して始めている。全体的にもやっていかなければならない。

市長と語る会における意見及び市長の回答(府中市自主防災組織連絡会委員)

No	意 見	回 答
10	災害時の要援護者支援についてどう対応していくか、市が仲介役となって話し合いをしてほしい。	要援護者の名簿をしっかりと把握し、地域の皆さんとも話し合いを持ち、それを日常の中で知っておくことが大事である。何らかの形で話し合いが持てるよう取り組んでいく。
11	地域の病院の職員は半分が市外の方だと聞いているが、災害時にライフラインがとまったときの対応について市職員や介護士などを含めて話し合いをしてほしい	病院や消防署、警察署の職員も市内在住の方はそう多くないと思う。初動体制をどうして行くかしっかりと詰めていかなければいけない。
12	矢崎幼稚園に食料や備蓄等置いてほしい。	原則、避難所となるところに備蓄をしている。皆が避難所に殺到したら避難所はパンクするので、自宅が安全であれば自宅で生活を送れるよう、数日分の食料等を各家庭で用意していただきたい。
13	自治会で全所帯の3日分の食料を備蓄しているが、賞味期限等がきている。入替には費用がかかるので、市から補助してほしい。	備蓄については、自治会の加入状況に係らず、必要なときに必要な人へ渡すことになると思う。自治会での取組みは素晴らしいが、個々の家庭でできる範囲のことをやってもらいたい。
14	東芝沿いに道路が整備され大変ありがたく思っているが、島忠の東側にあるJRの土地も未利用地になっているので、同様に道路として整備してほしい。	東芝沿いの道路については、朝夕の通勤時に人が多く危険な状態であり、かつ東芝側から土地使用の協力が得られたため、道路として整備することができた。JRの土地については、JRが土地を貸してくれるか、緊急性や必要性、予算との見合い等で難しいと思うが、要望としては承る。
15	市で、市民が自宅にどの程度備蓄しているか、アンケートをとるなどして把握してはどうか。	調査してみたいと思う。その結果によっては、広報の仕方等も変える必要がでてくる。
16	西原町は、道路建設で町が分断されてしまい、避難場所までたどり着けなくなる可能性もある。避難場所をどう確保していくのか考えてほしい。	トヨタ自動車のグラウンドを利用できるよう新たに協定を結んでいる。それだけでは十分ではないとの認識もあるので、何らかの対応が取れればいいと思っている。
17	災害時には自治会加入者は人数等把握できているが、未加入者の人数把握は時間がかかり大変だと思う。	自主防災を考えていくと、結局は人と人のつながりに行き着く。防災力をあげるということは自治会の加入率を高めることだという方策を考えていかなければならない。

市長と語る会における意見及び市長の回答(府中市自主防災組織連絡会委員)

No	意 見	回 答
18	災害時に学校へ市の職員が駆けつける時間は、どのくらいを想定しているのか。	平日の勤務中であれば初動班がすぐ駆けつけるので問題ないと思うが、休日の場合は、職員もみずからの生命や身体、家族の安全等を確保してからでないと次の行動に移れないと思う。
19	晴見町は一中が一時避難場所になっているが、広域避難場所である農工大のほうが近いので、農工大にも備蓄等を完備してほしい。	広域避難場所については、現在見直しをしている。広域避難場所と避難所生活をする場所では性格が違う。農工大でそのような対応が可能か話題にしてみる。
20	美好町は自治会が4つあるが、自主防委員は1名なので、伝えるのが大変。自主防委員を1自治会1名にしてほしい。	まちの実態を考えると、1町に1名ではお願いしている人に申し訳ない。それぞれの自治会で自主防災について考えているのだから、何人いてもかまわない。
21	新しく引越してきた人に自治会加入の呼びかけをしているが、なかなか難しい。市で転入届を受けた際に自治会についてのパンフレットを渡してほしい。	自治会の活動は皆さん熱心に取り組まれている。自治会が、災害が起きたときの組織でもあるといった明確な答えが出せればもう少し加入率も上がり、自主防災組織が広がって、自治会の活動にもつながっていくのでは思う。 また、転入者へパンフレットを渡すだけでなく丁寧に説明するなどのPRも必要だと思う。防災危機管理課は、横断的に市内の災害対策を考えていく部署であるし、市民協働推進本部では、自治会やコミュニティ活動のあり方を横軸で考えているので、いただいた意見をうまくかみ合わせていければと思う。
22	ハザードマップには広域避難所や一時避難場所、一時避難所、二次避難所という用語があるが、これらの使い分けをどの程度の市民が分かっているのかと疑問に思う。	今まではあまり実感も無くハザードマップをつくり市民に配布することで丁寧に仕事をしていると認識していた。ここで地域防災計画の見直しを行い、避難所や備蓄、用語についてもわかりやく整理したので、それらをまとめた防災ハンドブックを秋ごろに全戸配布する予定でいる。
23	市民に対して、学校への避難所利用は極力せず、自宅で備蓄をし避難生活をするといった意識改革をしていくべきでは。	災害時には必ず学校へ避難しなければならないわけではない。防災ハンドブックを全戸配布するので、それで市民にわかりやすく伝わってくればいいと思う。
24	災害時に学校を避難所として利用する以上は、学校やPTAとの話し合いが必要だと思う。	学校やPTA、地域、市が一緒になって打合せを設けていく必要があると認識しているので、今後検討し進めていきたい。
25	防災倉庫が無い学校がいくつかあるので、避難所となる学校には防災倉庫や備蓄等を整備してほしい。	防災倉庫や備蓄に関しては、各学校でばらつきが生じている。徐々に整備しているが、毛布や食料等が無いといったことがないように対応していく。

市長と語る会における意見及び市長の回答(府中市自主防災組織連絡会委員)

No	意 見	回 答
26	防災訓練をやっているがマンネリ化してきているので、例えば過去の事例を映像を交えて伝えるような催しをやってはどうか。	映像を活用し、改めて認識をするというのは非常にいいご意見だと思う。少し研究してみる。
27	災害が起きたときの連絡手段はどうなっているのか。	基本的には防災行政無線を使用する。また、エリアメール等で一斉メールを流すこともできるが、災害時には全員に届くかわからない。いくつかのことを複合していくしかないが、できるだけ100%の人に情報を伝達するのが公の使命だと思う。
28	地域の防災訓練に市の初動班の方も参加してほしい。	初動班の訓練参加は、ある程度義務的に指示しなければいけないと思う。可能な限り参加し、お互いの顔を知るなど、一緒にやらなければ市民との協働にならない。
29	府中九小の防災倉庫は3階の一番隅にあるので不便。臨時的に置いてあるとのことだったが、早めに1階に移してほしい。	状況はわからないが、いずれにしても使いやすい場所にあるべきだと思う。
30	井戸水の活用についてどう考えているか。	災害時の生活用水の確保は重要な問題だと思うが、井戸水については、基本的には計画に設けてはいない。
31	自主防災の支援に特化した専門職的な部を作って、自主防災組織が一定のレベルに達するまで指導したり、現場に出向いて意見交換をするといった組織づくりをしてほしい。	現有勢力でやっていかなければならないが、自主防災組織の拡充や地域の安全について議論を重ねていきたいと思う。